

令和5年度第1回北栄町歴史民俗資料館運営委員会

日時 令和5年6月1日(木)

午後1時30分～2時30分

場所 大栄農村環境改善センター 会議室1

日 程

1. 開 会

2. あいさつ

3. 自己紹介

4. 報告事項

(1) 令和4年度実施事業について…【資料1】

(2) その他

5. 協議事項

(1) 令和5年度事業計画について…【資料2】

・展示年間計画、展覧会リーフレット、郷土の作家たち

(2) その他

6. その他

7. 閉 会

北栄町歴史民俗資料館運営委員会委員

番号	氏名	所属等	備考
1	横濱 純一	北栄町文化財保護委員	
2	南場 兄一		
3	中前 雄一郎		
4	遠藤 晃子		
5	荒木 千彰		
6	吉田 康博	老人クラブ連合会代表	
7	伊藤 飛馬	自治会長会代表	
8	竹原 光余	女性団体連絡協議会代表	

※任期：令和4年4月1日から令和6年3月31日まで

<事務局出席者>

番号	氏名	職名	所属等	備考
1	笠見 隆志	教育長	教育委員会	
2	前田 美友紀	課長	生涯学習課	
3	福庭 克展	室長	文化・スポーツ推進室	
4	池口 沙弥香	主任	文化・スポーツ推進室	
5	牧本 哲雄	文化財専門員	文化・スポーツ推進室	
6	門脇 博	学芸員	北栄みらい伝承館	

款	9 教育費	項	4 社会教育費	
		目	7 歴史民俗資料館費	

## ①歴史民俗資料館管理事業

歴史民俗資料館を円滑に運営するため適切な管理を行うとともに、地域に埋もれた貴重な資料の収集保存に努め、保管資料の整理と展示活動等を通じて文化財の活用を図った。

【成果】 博物館資料アドバイザーの助言を得て資料の再整理・再保存を実施し、資料を活用した展示を行うことができた。

## ②歴史民俗資料館展示事業(下表参照)

・歴史民俗資料館運営委員会の開催 2回

【入館実績】

期間	開館日数	事業内容	入館者数
4/16～5/22	31	山下聖二 洋画展	352人
6/4～7/10	32	北条砂丘 砂丘開拓のあゆみ	204人
7/23～8/28	31	北栄町の鳥たち・魚たち	514人
9/10～10/16	31	特別企画展「大発明家 田熊常吉」	369人
11/3～12/4	26	共同企画「生誕100年 吉田たすく」	844人
12/24～2/12	39	昔の生活道具	222人
3/4～3/31(4/9)	23	北栄町の埴輪	358人
企画展小計			2,863人
4/1～3/31		生田和孝・加藤廉兵衛・福本和夫常設展のみ	180人

※4/9まで(31日間)の入館者数:529人

総入館者数 3,043人

	R2	R3	R4
入館者数(人)	2,596	3,022	3,043

【成果】 各種展示を通じて県内・町内の歴史や文化等について触れたり、考えたり、楽しむ機会を提供できた。

# 2022年度 北栄みらい伝承館（北栄町北条歴史民俗資料館） 展覧会のご案内

（※記載内容について変更が生じる場合があります。ポスターやチラシ等でご確認をお願いします。）

（2022年4月～2023年3月）

## 特別企画展・企画展・テーマ展示（第1展示室）

### 【企画展】一郷土の作家たち— 「山下聖二 洋画展」

4月16日(土)～5月22日(日)

大栄町（現北栄町）亀谷生まれで国坂在住の山下聖二氏は、高知大学特設美術・工芸課程卒業後、主に県中部地区の中学校の美術科教員を務めながら制作活動を続け、昨年度は倉吉市展で特賞、鳥取県展で県展賞をした作家です。

行動美術展に出品した大作、県展で受賞した作品を中心に展示し、その表現の変遷をたどりま

▷ 山下聖二  
〈刻・2021〉



### 【テーマ展示】—北栄町の歴史— 「北条砂丘 砂丘開拓のあゆみ」

6月4日(土)～7月10日(日)

併設「収蔵絵画展示コーナー」

江北浜新田の開墾を遂行した榎田新蔵の偉業を中心に、18世紀中ごろから始まる北条砂丘開拓の歩み、砂丘灌漑の歴史を紹介します。

▷ 〈榎田新蔵肖像画〉



### 【企画展】—夏休み自然展— 「北栄町の鳥たち ・魚たち」

7月23日(土)～8月28日(日)

北栄町で見られる鳥と魚に焦点をあて、中前雄一郎氏が撮りためた写真パネルを中心に紹介します。



▷ 〈スズキ〉

### 【特別企画展】—北栄町の人物伝— 「大発明家 田熊常吉」

～初の純国産水管式ボイラーをつくった男～  
9月10日(土)～10月16日(日)

1872年、八橋郡東園村（現北栄町東園）に生まれた田熊常吉は、成人後起業しますが、失敗を繰り返します。そして、度重なる試練の末ついに、水管ボイラーの試作に成功します。1912年にはタクマ式気灌の特許を取得、第2回発明博覧会で最高金賞を受賞します。また、1929年に開催された万国工業会議で世界最高と評価されるに至りました。

生誕150年を迎えるのを機に、逆転人生の田熊常吉の足跡を紹介するとともに、常吉が発明した気灌についても紹介します。

▷ 〈田熊常吉肖像写真〉



### —鳥取県ミュージアムネットワーク 共同企画— 「生誕100年 吉田たすく 展」

11月3日(祝)～12月4日(日)

吉田たすくは、倉吉市生まれの染織家。戦後、創作郷土玩具を制作しますが、1947年より高機で緋制作を始めて以降、染織の技法を追究し、1963年には自宅に「たすく手織研究所」を開設します。各地で個展を中心に発表活動を展開し、多くの愛好者を得ます。また、1950年には倉吉市展の創設に参加し、以後倉吉市展や鳥取県展の審査員を務めます。創作活動は染織にとどまらず版画や陶芸にもおよび、同時に中部地区の中学校で教鞭もとりました。

生誕100年を記念して吉田たすくを改めて紹介するとともに、吉田と関わりがあった工芸家の作品を展示紹介します。

▷ 吉田たすく 〈四季〉

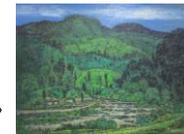


同時開催＜常設展示室＞

### 「吉田たすくとゆかりの 北栄町の作家たち」

伊藤武、米本一郎、加藤廉兵衛など、吉田とゆかりのある北栄町の作家の作品も展示します。

▷ 伊藤武 〈因幡への道〉



### 【テーマ展示】—北栄町の民俗— 「昔の生活道具」

12月24日(土)～2月12日(日)  
併設「収蔵絵画展示コーナー」

明治・大正・昭和、それぞれの時代に実際に使用された生活道具を展示し、それぞれの時代の生活の様子的一端を紹介します。

▷ 〈飯そうき〉



### 【企画展】—北栄町の歴史—

### 「北栄町の埴輪」

3月4日(土)～4月9日(日)

北条平野を一望する土下山には約300基を数える古墳が点在し、多くの埴輪が出土しました。土下211号墳から出土した鹿埴輪は特に知られ、国の重要美術品にも指定されています。その他にも、人物埴輪、馬型埴輪、壺型埴輪、円筒埴輪など多くの埴輪が出土しています。中には、顔料を用いて鹿子文様を施した人物埴輪もあり、鹿埴輪とあわせて学術的価値が高く評価されています。

鹿埴輪や人物埴輪など土下古墳群等から出土した埴輪を中心に、町内で出土した埴輪を広く紹介します。

▷ 〈鹿の子文人物埴輪〉



4月3日(日)～7月3日(日)  
「コレクション展 I」

7月12日(火)～10月23日(日)  
「コレクション展 II」

常設展示 (第2展示室)

12月17日(土)～3月21日(祝)  
「コレクション展 III」

※「コレクション展」では、当館所蔵の生田和孝の陶芸品、加藤廉兵衛の土人形、福本和夫の鼻コレクション等を展示紹介します。（会期中に一部展示替えを行う場合があります。）



■ 北栄みらい伝承館 ■ 〒689-2103 鳥取県東伯郡北栄町田井47-1 ■ TEL:0858-36-4309 ■ e-mail:h-rekishi@e-hokuei.net ■ HP:http://www.e-hokuei.net/2202hytm  
■ 開館時間:午前9時～午後5時(最終入館は午後4時45分) ■ 休館日:月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始(12月29日～1月3日)



2023(令和5)年度 年間スケジュール(案)

北栄みらい伝承館

2023	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
4月	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
	1室	●(G)北栄町の歴史「北栄町の埴輪」展(～4/9)										○コレクション展 I										●越野邦夫回顧展										
	2室																															
	休館日	休			休			休			休			休			休			休			休			昭和の日						
5月	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
	1室	●越野邦夫回顧展																														
	2室																															
	休館日	休			憲法記念日の子どもの日			休			休			休			休			休			休			休						
6月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
	1室											●大栄すいか展																				
	2室																															
	休館日	休			休			休			休			休			休			休			休			休						
7月	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	1室	●大栄すいか展										○コレクション展 II																				
	2室																															
	休館日	休			休			休			休			休			休			休			休			休						
8月	曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	1室	▼レッドデータブックとっとり展																														
	2室																															
	休館日	休			休			休			休			休			休			休			休			休						
9月	曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
	1室	●福新幸世 書展																														
	2室																															
	休館日	休			休			休			休			休			休			休			休			休						
10月	曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	1室	●福新幸世 書展										○コレクション展 III																				
	2室																															
	休館日	休			休			休			休			休			休			休			休			休						
11月	曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
	1室	□正増適處と研志塾																														
	2室																															
	休館日	休			休			休			休			休			休			休			休			休						
12月	曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	1室	□正増適處と研志塾										●昔の生活道具																				
	2室																															
	休館日	休			休			休			休			休			休			休			休			休						
2024 1月	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
	1室	●昔の生活道具										○コレクション展 IV																				
	2室																															
	休館日	休			休			休			休			休			休			休			休			休						
2024 2月	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
	1室	●昔の生活道具																														
	2室																															
	休館日	休			休			休			休			休			休			休			休			休						
2024 3月	曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	1室	●発掘された人骨からわかること																				～4/7(日)										
	2室																															
	休館日	休			休			休			休			休			休			休			休			休						

- 凡例
- 企画展(会期中無休)
  - 企画展(月曜日、休日の翌日休館)
  - 特別企画展(月曜日、休日の翌日休館)
  - ▼共同企画展(月曜日、休日の翌日休館)
  - 常設展(生田・加藤他)

日数	【企画】
32	越野邦夫回顧展
38	大栄すいか
20	レッドデータブックとっとり
32	福新幸世 書展
32	正増適處と研志塾
45	昔の生活道具
31	発掘された人骨からわかること
230	
67	コレクション展 I
66	コレクション展 II
69	コレクション展 III
60	コレクション展 IV
262	

# 2023(令和5)年度 北栄みらい伝承館(北栄町北条歴史民俗資料館) 展覧会のご案内

(※展覧会名など記載内容を変更する場合があります。ご了承の上、ポスターやチラシ等でご確認をお願いします。)

(2023年4月～2024年3月)

## 特別企画展・企画展・テーマ展示 (第1展示室)

【企画展】一郷土の作家たち一

### 「越野邦夫 回顧展」

4月22日(土)～5月28日(日)

昨年5月に逝去された水彩画家・越野邦夫氏は本町北尾の生まれで、鳥取大学卒業後、県内の小中学校で美術を指導する一方、水彩画に独自の様式を確立し、日本水彩連盟展で文部大臣賞受賞、安井賞候補に挙げられるなど全国的に評価されます。また、倉吉市展、県展にも積極的に出品し、長年にわたって審査員も務めるなど、鳥取県の美術の発展にも尽力しました。



▶越野邦夫〈途上の一瞬〉(2009年)

【企画展】鳥取県立博物館共催  
一夏休み自然展一

### 「最新版！ レッドデータブックとっとり」 ～鳥取県の絶滅のおそれのある野生生物～ 8月5日(土)～8月27日(日)

鳥取県で絶滅が危惧される野生生物をまとめた「レッドデータブックとっとり」について、2022年、内容の見直しが行われました。

この最新版に掲載される希少度の高い動植物を、実物標本やレプリカ等で展示紹介します。



▶オオタカ(剥製)  
(鳥取県立博物館蔵)

【特別企画展】一北栄町の人物伝一

### 「正牆適處と研志塾」

11月3日(祝)～12月10日(日)

鳥取藩の漢学者で、晩年に久米郡松神村(現北栄町松神)に移り住んだ正牆適處(1818(文政元)年～1875(明治8)年)と、適處が開いた私塾「研志塾」について紹介します。鳥取藩医の子として生まれた正牆適處は、武技を好み、建部樸斎に学問を学びます。その後、良い先生や学友を求めて全国をまわりながら、学問や画、詩文の才能を磨いていきます。1853年、松山藩に召抱えられますが、鳥取藩主・池田慶徳に鳥取に呼び戻され、藩校「尚徳館」で藩士の教育にあたります。また、鳥取城下に私塾「研志塾」を開き、藩内外から多くの学生を集めて教育します。

1873年、一切の官職を辞して、弓原村の豪農・岩本廉蔵の要請にこたえて松神に移住し、隆光寺本堂に「研志塾」を再開し、地方の子弟教育に心血を注ぎます。「研志塾」からは優れた人材が多数輩出され、地方の発展に貢献しました。

この展示では、正牆適處が松神に移住して150年になるのを機に、改めて適處の人となり、適處が制作した詩文水墨の作品のほか、適處が開いた研志塾について紹介します。



▶正牆適處肖像  
(『栗溪雅会略誌』より 鳥取県立図書館蔵)

【企画展示】一北栄町の民俗一

### 「昔の生活道具」

～養蚕に使用された道具～  
12月23日(土)～2月18日(日)

明治・大正・昭和の時代に実際に使用された生活道具を展示し、その時代の生活の様子的一端を紹介します。

今回は、かつて盛んに行われていた養蚕に使用された道具を展示します。



▶糸車

【企画展】一北栄町の歴史一

### 「発掘された人骨から わかること」

3月2日(土)～4月7日(日)

これまでの発掘調査により、町内の北条島、妻波、西穂波、下種、上種、瀬戸の各古墳遺跡から人骨が出土しています。

瀬戸35・36号墳を中心に、人骨が出土した当時の発掘資料や、県ならびに国立科学博物館に依頼していたDNAを使った分析など、科学的な分析によって明らかになった当時の人の特徴や生活の様子を紹介します。



▶瀬戸35号墳第1号埋葬施設石棺

【企画展】一北栄町の歴史一

### 「大栄すいか」

6月10日(土)～7月23日(日)

大栄西瓜は、115年以上の生産の歴史を誇り、安定した品質の西瓜として全国的にも高い評価を受けています。

旧・大栄町農業協同組合西瓜生産組合長協議会が発足して50周年を迎えるにあたり、改めて大栄西瓜について、大栄西瓜組合協議会のこれまでの活動を振り返ります。



▶大栄すいか

【企画展】一郷土の作家たち一

### 「福新幸世 書展」

9月9日(土)～10月15日(日)

本町江北浜在住の福新幸世(幸子)氏は、町内の保育所に勤務していた1980年頃から書を始め、退職を機に本格的に制作活動を展開します。倉吉市展で奨励賞や市展賞を受賞、書道芸術院に長く所属し審査員も務めます。また、北条町時代から町美術展にも積極的に出品し、平成19年、20年、22年には美術展賞を受賞し、無鑑査作家となり、現在も意欲作を出品しています。



▶福新幸世〈子規の句〉(2021年)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
4月9日(日)～6月25日(日) 「コレクション展 I」			7月9日(日)～9月24日(日) 「コレクション展 II」			10月8日(日)～12月28日(木) 「コレクション展 III」			1月14日(日)～3月24日(日) 「コレクション展 IV」		

※「コレクション展」では、当館所蔵の生田和孝の陶芸品、加藤廉兵衛の土人形、福本和夫の鼻コレクション等を展示紹介します。(会期中に一部展示替えを行う場合があります。)



■北栄みらい伝承館 ■〒689-2103 鳥取県東伯郡北栄町田井47-1 ■TEL:0858-36-4309 ■e-mail:h-rekishi@e-hokuei.net ■HP:http://www.e-hokuei.net/2202htm

■開館時間:午前9時～午後5時(最終入館は午後4時45分) ■休館日:月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始(12月29日～1月3日) ■ナビ検索は「北条歴史民俗資料館」で



# 「郷土の作家たち」候補者について

## 1. 選考基準

- ①北栄町美術展の招待作家、無鑑査作家
  - ②北栄町にゆかりのある作家
    - ・北栄町出身・在住・北栄町在勤者等で全国規模の展覧会等に出品歴があるなど
  - ③北栄町に関することを題材として扱う作家
    - ・全国規模の展覧会等に出品歴があるなど
  - ④将来の北栄町の文化芸術振興を担い、活躍が期待できる作家
  - ⑤その他、推薦のあった作家
- ※②～⑤については、知名度、話題性、時機を捉えたものなど考慮すること

## 2. 出品作家計画

年度	氏名	(分野)	選考基準	氏名	(分野)	選考基準
2024年度	吉田 収	(彫刻)	②			
2025年度	山本 隆博	(洋画)	②			
その後の候補者	根鈴 裕之	(写真)	①			
	日置 華英	(書道)	①			
	山本 賢人	(日本画)	①			

※辞退があった場合は、基本的には次候補にあたる。ただし、同じ分野が続かないようにする。

### 候補選出の考え方

- (1) 選考基準①に基づき、招待作家を優先して選出
- (2) 経過を確認し、展示していない分野を優先する
- (3) 分野ごとの作家数も考慮する
- (4) 時機を捉えた作品、作家の選出に配慮する(例：遺作展)
- (5) 前田寛治出身町として洋画関係は定期的に開催

## 3. 参考資料

### ① 過去の「郷土の作家たち」企画展作家一覧

年度	氏名	(分野)	選考基準	氏名	(分野)	選考基準
2004年 (H16)	谷繁 淳子	(洋画)	①	奥谷 俊治	(彫刻)	②
2005年 (H17)	松本 必明	(洋画)	②			
2006年 (H18)	田中 重行	(洋画)	①	加藤 廉兵衛	(工芸)	②
2007年 (H19)	南場 兄一	(洋画)	①	増田 英一	(洋画)	②
2008年 (H20)	清水 良昭	(日本画)	①	山根 和夫	(写真)	①
2009年 (H21)	道祖尾 良苑	(書道)	①			
2010年 (H22)	池田 正晰	(工芸・絵画)	②			
2011年 (H23)	浜本 恵美子	(工芸)	②			
2012年 (H24)	越野 邦夫	(洋画)	①	穂近 勉	(書道)	②
2013年 (H25)	増田 敬子	(洋画)	①	前田寛治・前田利三・増田英一	(洋画)	②
2014年 (H26)	田熊 誠	(版画)	①	中本 茂晴	(陶芸)	①
2015年 (H27)	吉田 俊夫	(写真)	①	田村 志伸	(洋画)	①
2016年 (H28)	岩垣若翠(純)	(書道)	①			
2017年 (H29)	引田恵華(恵子)	(書道)	①	竹歳 育世(物故)	(写真)	②
2018年 (H30)	木村香翠(宇田川美恵)	(書道)	①	門脇 博	(洋画)	①
2019年 (R01)	田熊 誠(物故)	(版画)	⑤	進木 富夫	(工芸)	①
2020年 (R02)	前田 明範(物故)	(洋画)	①			
2021年 (R03)	山本 奈美枝	(工芸)	②			
2020年 (R04)	山下 聖二	(洋画)	①			
2023年 (R05)	越野 邦夫(物故)	(洋画)	①	福新 幸世	(書道)	①